

白山市辺地に係る総合整備計画書

(令和3年度～令和7年度)

河内辺地総合整備計画書

吉野谷辺地総合整備計画書

鳥越辺地総合整備計画書

尾口辺地総合整備計画書

白峰辺地総合整備計画書

令和6年3月

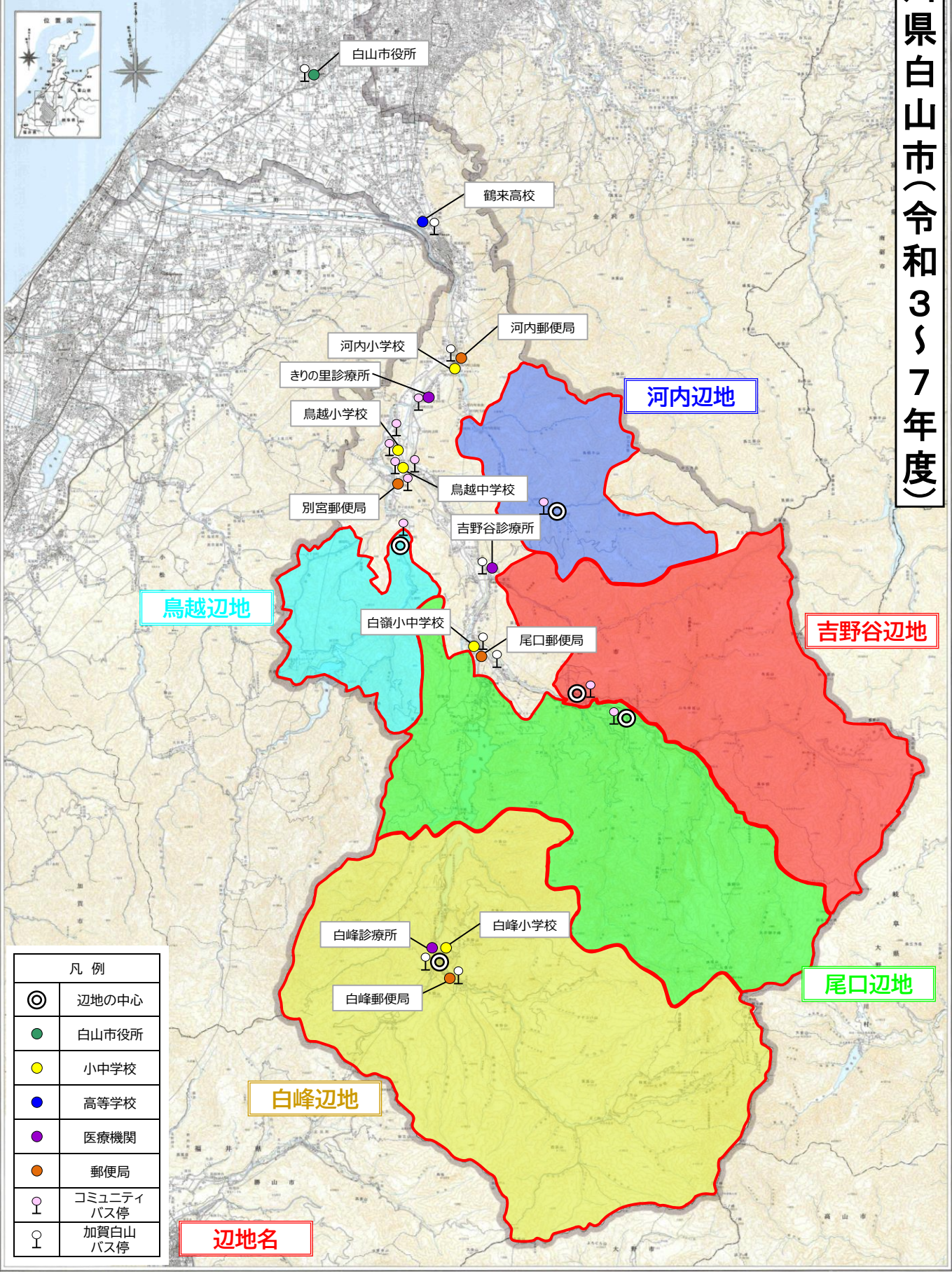
石川県白山市

目 次

白山市辺地位置図	1
総合整備計画書	
河内辺地総合整備計画書	2
吉野谷辺地総合整備計画書	4
鳥越辺地総合整備計画書	6
尾口辺地総合整備計画書	8
白峰辺地総合整備計画書	10

辺地位置図

石川県白山市(令和3～7年度)



凡例	
◎	辺地の中心
●	白山市役所
●	小中学校
●	高等学校
●	医療機関
●	郵便局
○	コミュニティバス停
○	加賀白山バス停

辺地名

河内辺地総合整備計画書

石川県白山市河内辺地
(辺地の人口 86 人、面積 48.30 km²)

1 辺地の概況

- | | |
|--------------------|--------------------------------------|
| (1) 辺地を構成する町又は字の名称 | 河内町内尾、河内町下折、
河内町金間、河内町板尾
河内町吹上 |
| (2) 地域の中心の位置 | 河内町内尾口 39 番地 |
| (3) 辺地度点数 | 143 点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、白山市中心部から南東に約 25 km の距離に位置する山間地帯にあります。

冬季は積雪が多く、零細農家の点在する不便な生活環境にあり、過疎化とともに高齢化が著しく活力の停滞が顕著となっています。

このような状況の中、観光による地域振興策として、交流の場とともに雇用を創出する貴重な地域資源であるスキー場が重要な役割を担ってきましたが、近年は、施設の老朽化が進んでいることから、多くのスキーヤーが安全に楽しむことができる施設の整備・充実を行うことにより、交流人口の拡大と地域の魅力向上に努めます。

また、効率的な林業経営を促進するために不可欠な林道整備を行うことにより、林業の活性化と振興を推進するとともに森林資源の多様で有効な活用を図ります。

さらに、今後の人口減少に伴い、水道事業について、より効率的・効果的な経営を進めていく必要があることから、老朽化した水道施設の更新に合わせ、水道施設の統合整備を行うことにより、安全安心で良質な飲料水の安定的な供給に努めます。

3 公共的施設の整備計画
令和3年度から令和7年度まで 5年間

(単位：千円)

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
事業主体	施設名		特定財源	一般財源	
農道及び林道	白山市	32,000	18,300	13,700	13,700
飲料水供給施設	〃	5,500	2,800	2,700	2,700
観光又はレクリエーションに関する施設	〃	228,300	—	228,300	228,300
合 計		265,800	21,100	244,700	244,700

吉野谷辺地総合整備計画書

石川県白山市吉野谷辺地
(辺地の人口111人、面積125.05km²)

1 辺地の概況

- | | |
|--------------------|---------|
| (1) 辺地を構成する町又は字の名称 | 中宮、瀬波 |
| (2) 地域の中心の位置 | 中宮へ20番地 |
| (3) 辺地度数 | 129点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、白山市中心部から南東に約35kmの距離に位置する山間地帯にあります。

冬季は積雪が多く、主な産業である農林業は、いずれも生産基盤が悪く、経営規模も零細であることから、過疎化及び高齢化が進行し、深刻な問題となっています。

このような状況の中、効率的な林業経営を促進するために不可欠な林道整備を行うことにより、林業の活性化と振興を推進するとともに森林資源の多様で有効な活用を図ります。

また、安定した生活環境の実現を図る上で欠かすことのできない、地域住民の生活に密着した道路の整備や橋梁等の長寿命化修繕を行うとともに、冬季積雪時における除雪体制の強化のため、消融雪施設を整備することにより、利便性と安全性の向上を図り、豪雪地帯の不利な条件の解消に努めます。

さらに、高齢者の保健及び福祉の向上のため重要な役割を担っている保養施設及び地域住民等が利用する集会施設の老朽化が進んでいることから、安全に利用できる施設整備が急務となっており、これらを保健休養、地域住民の交流の場所として、多目的な機能を整備し総合的に発揮させることで、地域の活性化を図ります。

加えて、観光による地域振興策として重要な役割を担っている温泉保養施設を整備することにより、都市交流・文化活動の拠点として、魅力ある地域づくりの推進を図ります。

3 公共的施設の整備計画

令和3年度から令和7年度まで 5年間

(単位：千円)

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
事業主体	施設名		特定財源	一般財源	
	白山市	94,000	29,290	64,710	64,100
道路及び渡船施設					
農道及び林道	〃	17,000	10,200	6,800	6,800
公民館その他の施設	〃	9,500	—	9,500	9,500
高齢者の保健又は福祉の向上又は増進を図るための施設	〃	214,500	—	214,500	214,500
観光又はレクリエーションに関する施設	〃	26,000	—	26,000	26,000
合計		361,000	39,490	321,510	320,900

鳥越辺地総合整備計画書

石川県白山市鳥越辺地
(辺地の人口 63 人、面積 37.73 km²)

1 辺地の概況

- | | |
|--------------------|---|
| (1) 辺地を構成する町又は字の名称 | 渡津町、左礫町、三ツ瀬町、
数瀬町、阿手町、五十谷町、
柳原町、野地町 |
| (2) 地域の中心の位置 | 渡津町口 172 番地 |
| (3) 辺地度数 | 105 点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、白山市中心部から南に約 30 km の距離に位置する山間地帯にあります。

冬季は積雪が多く、主な産業である農林業は、いずれも生産基盤が悪く、経営規模も零細であることから、過疎化及び高齢化が進行し、深刻な問題となっています。

このような状況の中、効率的な林業経営を促進するために不可欠な林道整備を行うことにより、林業の活性化と振興を推進するとともに森林資源の多様で有効な活用を図ります。

また、安定した生活環境の実現を図る上で欠かすことのできない、地域住民の生活に密着した道路の整備や橋梁等の長寿命化修繕を行うことにより、利便性と安全性の向上に努めます。

さらに、地域振興策として重要な役割を担ってきたレクリエーション施設の老朽化が進んでいることから、これらを整備することにより、交流人口の増加による地域の活性化を図ります。

3 公共的施設の整備計画
令和3年度から令和7年度まで 5年間

(単位：千円)

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
事業主体	施設名		特定財源	一般財源	
道路及び渡船 施設	白山市	73,500	40,200	33,300	33,300
農道及び林道	〃	18,600	9,240	9,360	9,200
観光又はレク リエーション に関する施設	〃	7,000	—	7,000	7,000
合 計		99,100	49,440	49,660	49,500

尾口辺地総合整備計画書

石川県白山市尾口辺地
(辺地の人口170人、面積135.96km²)

1 辺地の概況

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| (1) 辺地を構成する町又は字の名称 | 尾添、荒谷、女原、東二口、
深瀬、鴫ヶ谷、仏師ヶ野町 |
| (2) 地域の中心の位置 | 尾添リ60番地12 |
| (3) 辺地度数 | 201点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、白山市中心部から南東に約40kmの距離に位置する山間地帯にあります。

冬季は積雪が多く、主な産業である農林業は生産基盤が弱く、過疎化とともに高齢化が進み、地域活力の停滞が顕著となっています。

このような状況の中、観光による地域振興策として、交流の場とともに雇用を創出する貴重な地域資源であるスキー場が重要な役割を担ってきましたが、近年は、施設の老朽化が進んでいることから、多くのスキーヤーが安全に楽しむことができる施設の整備・充実を行うことにより、交流人口の拡大と地域の魅力向上に努めます。

また、効率的な林業経営を促進するために不可欠な林道整備を行うことにより、林業の活性化と振興を推進するとともに森林資源の多様で有効な活用を図ります。

さらに、安定した生活環境の実現を図る上で欠かすことのできない、地域住民の生活に密着した道路の整備や橋梁等の長寿命化修繕を行うとともに、冬季積雪時における除雪体制の強化のため、消融雪施設を整備することにより、利便性と安全性の向上を図り、豪雪地帯の不利な条件の解消に努めます。

今後の人口減少に伴い、水道事業について、より効率的・効果的な経営を進めていく必要があることから、老朽化した水道施設の更新に合わせ、水道施設の統合整備を行うことにより、安全安心で良質な飲料水の安定的な供給に努めます。

加えて、農業用排水施設の水質保全、農村環境の改善を図るとともに、快適性と利便性を高めるため、農業集落排水施設の機能強化を行うことにより、生活環境の充実と自然環境の保全に努めます。

このほか、安全で快適に利用できる運行を確保するため、老朽化したコミュニティバスを更新することにより、公共交通のさらなる利便性の向上と利用促進を図ります。

3 公共的施設の整備計画

令和3年度から令和7年度まで 5年間

(単位：千円)

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の 予定額
事業主体	施設名		特定財源	一般財源	
道路及び渡船施設	白山市	30,900	17,140	13,760	13,700
飲料水供給施設	〃	95,000	47,600	47,400	47,400
農道及び林道	〃	116,500	46,000	70,500	70,500
下水処理のための施設	〃	6,500	4,950	1,550	1,500
住民の交通の便に供するための自動車	〃	26,000	—	26,000	26,000
観光又はレクリエーションに関する施設	〃	388,100	—	388,100	388,100
合 計		663,000	115,690	547,310	547,200

白峰辺地総合整備計画書

石川県白山市白峰辺地
(辺地の人口675人、面積221.50km²)

1 辺地の概況

- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) 辺地を構成する町又は字の名称 | 白峰、桑島、下田原 |
| (2) 地域の中心の位置 | 白峰口86番地 |
| (3) 辺地度数 | 130点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、白山市中心部から南に約45kmの距離に位置する山間地帯にあります。

冬季は積雪が多く、主な産業である農林業は、いずれも生産基盤が悪く、経営規模も零細であることから、過疎化及び高齢化が進行し、深刻な問題となっています。

このような状況の中、効率的な林業経営を促進するために不可欠な林道整備を行うことにより、林業の活性化と振興を推進し、森林資源の多様で有効な活用を図るとともに、地域振興策として重要な役割を担うスキー場、温泉保養施設及び文化施設等を整備することにより、地域資源が有する保健休養、文化、教育等の場所として、多目的な機能を総合的に発揮させ、地域の活性化を図ります。

また、安定した生活環境の実現を図る上で欠かすことのできない、地域住民の生活に密着した道路の整備や橋梁等の長寿命化修繕を行うとともに、冬季積雪時における除雪体制の強化のため、除雪機械や消融雪施設を整備することにより、利便性と安全性の向上を図り、豪雪地帯の不利な条件の解消に努めます。

加えて、日常生活や災害時における情報提供の安定性向上のため、情報通信基盤の整備を行うことにより、安全かつ安心して暮らすことができる住みよい地域づくりに努めます。

さらに、今後の人口減少に伴い、水道事業について、より効率的・効果的な経営を進めていく必要があることから、老朽化した水道施設の更新に合わせ、水道施設の統合整備を行うことにより、安全安心で良質な飲料水の安定的な供給に努めます。

このほか、遠距離通学児童生徒の通学安全を確保するため、老朽化したスクールバスを更新することにより、安心して快適な学校環境づくりに努めます。

3 公共的施設の整備計画
令和3年度から令和7年度まで 5年間

(単位：千円)

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
事業主体	施設名		特定財源	一般財源	
	白山市	70,800	26,430	44,370	44,100
道路及び渡船 施設					
児童・生徒の 通学のための 自動車	〃	21,500	—	21,500	21,000
飲料水供給施 設	〃	14,450	7,300	7,150	7,100
電気通信に関 する施設	〃	4,500	—	4,500	4,500
農道及び林道	〃	537,800	251,120	286,680	286,600
除雪機械	〃	49,600	33,000	16,600	16,600
観光又はレク リエーション に関する施設	〃	202,120	16,270	185,850	185,300
合 計		900,770	334,120	566,650	565,200

白山市辺地に係る総合整備計画

発 行 令和3年（2021年）3月

第1次改訂 令和4年（2022年）3月

第2次改訂 令和5年（2023年）3月

第3次改訂 令和6年（2024年）3月

発 行 者 白山市

〒924-8688

石川県白山市倉光二丁目1番地

編 集 白山市企画振興部企画課